

平成31年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
平成31年 4月22日（火）	二川公民館	19:00～20:00	20	5	25

○市側出席者

市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

○開会（秘書課長）

- ・会の趣旨説明
- ・出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。平成29年度から掲げる「連携」をさらに充実させ、効果的に発信する。多くの方に幅広く連携について知っていただく必要がある。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

2015年国連サミットで採択されたもので、2030年までに全人類が達成すべき目標とされる。17のゴール・169のターゲットの中には市政と直接関係しないものもあるが、様々な相手との連携のための共通の基盤として、国際的な視野を持つことが重要。

・萩・石見空港の利活用

現在1日2往復の東京線だが、うち1つは国の発着枠政策コンテストにより得たものであり、何度かの期間更新を経て、今年度末でいったん終了する。その後は未定であり、継続のための実績をしっかりと作らなくてはならない。前年度、過去最高の実績を残した勢いを維持し、特に年度前半の利用実績を重視して取り組みたい。県や近隣市町とともに国交省・ANAに働きかけていく必要がある。引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

・ひとづくりと人材確保

もう一つの重要な柱であり、「ひとづくり協働構想」を作り取り組んでいる。特に未来を担う子供たちについては、各学校で「カタリ場」を実施したり、中学生の職場体験も地元企業の協力を得て行っている。働き手が不足する状況の中、企業と連携した人材育成が重要である。また地域、特に中山間地域活動の担い手の高齢化も進んでいる。都市部の大学生などにインターン・実習生として来てもらい、地域づくりに取り組みながら学んでもらう事業も拡大予定。

・二川地区の課題等について

- ① 市道大峠線の改修工事は平成23年度から事業開始し、現在事業費ベースで63%の進捗状況である。予算確保は依然厳しく、ご迷惑をかけている。国の道路整備交付金の配分が想定より多くあったため、今年度は大幅な進捗を図りたい。
- ② 二川小学校跡については、住民の活動拠点や、地域活性化を図り交流体験機能を有する施設として活用したいと考える。1階は二川公民館として、2階は研修施設・体験交流センターとして簡易宿泊機能などを整備していきたい。改修は市が行い、管理運営は「ぬくもりの里二川」を指定管理者として行っていただく予定。旧二川公民館は用途廃止する。
- ③ 双川峡の工事については、平成22年度から行っている。事業費ベースの進捗率は約40%であり、今年度は5千万円を投じて、観音堂背面の法面対策工事等を行う。令和3年度までに完了したい。
- ④ 人口拡大計画策定にあたり平成26年度に設置した人口拡大課について。全国に先駆け、人口拡大に着目し計画の中核を担う部署としている。計画は国の地方創生に呼応して「益田市総合戦略」に移行した。定住人口減少には歯止めがかかっているが、社会減についてはかなり改善し、社会増となっている地区もある（匹見下地区等）。受け皿作りが重要と考える。また関係人口という捉え方で、地域づくりや産業を通じて縁を持った方との交流を継続し、

地域間での競争ではなく連携によって活性化を図ることも行っていく。U I ターンサポート
宣言企業などの企業との連携も大事である。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 携帯電話不感地帯について
- ② 河川の災害対策について
- ③ 地籍調査事業について
- ④ 市営住宅の料金について
- ⑤ 風力発電施設について
- ⑥ 消防操法大会について
- ⑦ 地区社協について
- ⑧ 石州犬について

- 閉 会 （秘書課長）

平成31年度「市長と語り合う会」

〔会場 二川公民館〕 開催日時：平成31年4月22日（火）19:00～20:00

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 携帯電話不感地帯について ここから矢原方面にかけて不感地帯となっている。災害時等不安である。</p>	<p>① 携帯電話会社に都度要望を行っている。採算に合わないところでは国補助を得て進めなければならない。年1～2カ所のペースとなるが引き続き要望を行っていく。</p>
<p>② 河川の災害対策について 5・8 災時に河川改修したところで、かなり腐葉土が溜まってきている。</p>	<p>② 河床の泥が溜まったところが大雨の時災害に繋がりやすい。河床掘削を計画的に進めないといけない。県管理の河川については県に要望をしていく。</p>
<p>③ 地籍調査事業について 古い人が亡くなると境界が分らなくなる土地も多い。高齢化が進む地域ほど早く行うべき。</p>	<p>③ 進捗は市全体で11%弱、美都地域は24%である。今年度予算は登記事務分のみ。山陰道の工事が想定される地区を優先している。</p>
<p>④ 市営住宅の料金について 借手も少なく、前々から下げてほしいと言っている。益田地区とは相場も違う。</p>	<p>④ 料金体系は決まっているので、値下げは補助となる。そもそも公営住宅には国等の補助が入っており、民間より安い。これ以上の値下げは厳しく、料金以外の方策で入居者確保を図っていきたい。</p>
<p>国庫補助を受けた住宅も、条例で料金体系を変えることができると新聞等で読んだ気がするかどうか。</p>	<p>詳細を把握していないので、確認させていただきたい。</p>
<p>⑤ 風力発電施設について 建設予定業者の説明会が行われている。近隣住民の反対の声もあるが、市長の考えは。</p>	<p>⑤ クリーンエネルギーは地球環境の観点から、その必要性を認識している。固定資産税が入ることも市としてありがたい。もちろん騒音などで迷惑施設になってはいけない。事業者にはそういう不安を払拭してもらえよう要請していく。</p>
<p>⑥ 消防操法大会について 全国大会の出場にあたり、懸垂幕を設置していただき感謝する。</p>	<p>⑥ 副市長を中心に対応させていただいた。好成績を挙げられ良かった。</p>
<p>⑦ 地区社協について 美都・匹見にはない。市と市社協とで調整される必要があるのではないかと。</p>	<p>⑦ 市社協の支所がその役目をするのではないかと思う。地区にもよるが、ゆくゆくは地域自治組織の福祉部会などの形で組織される必要があるのではないかと思う。 (政策企画局長) 市社協は1市町村に1つの定めであり、合併後は社協支所として残している。各地区の困り事等のためには小地域ネットワーク事業があり、それとの絡みで地区社協のあり方も考えていきたい。</p>
<p>⑧ 石州犬について 二川の石州犬が柴犬のルーツであることが分ってきた。石像を作ろうという動きがある。市もPRしてほしい。</p>	<p>⑧ 柴犬は世界的に人気であり、そのルーツが地元にあるというのはホットな話題である。市からも発信できるように考えていきたい。</p>